

- 記事広告 新ラバー「フライアット」……[2]  
 カラー特集 第66回国民体育大会……[4]  
 道しるべ 作馬六郎(王子卓球センター代表)……[8]  
 インタビュー 村田充史(四天王寺高監督)……[10]  
                   大嶋雅盛(四天王寺高総監督)……[11]  
                   四天王寺中・高卓球部……[11]  
 大会報道 第66回国民体育大会……[14]  
 日本の肖像 川嶋文信(三井物産代表取締役専務執行役員)……[18]  
 夢に向かった散歩道 近藤欽司(エリートアカデミーコーチ)……[20]  
 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……[22]  
 多球練習はこれだ 渡辺勝男(丸善クラブ監督)……[24]  
 Next Standard 新井卓将(丸子橋卓球スタジオ代表)……[26]  
 One to One 平田洋子(全国ラージボール大会優勝)……[28]  
 卓球考察Ⅳ 倉木常夫(元筑波大学教授)……[30]  
 ラージ大会 第1回熱海国際観光温泉大会……[40]  
 ラージ大会 第12回ラージボールふれあい大会……[41]  
 大会報道 平成23年度全日本選手権大会(団体の部)……[45]  
 頑張ろう 東日本 第8弾 4県交流・震災復興「絆」大会……[48]  
 チーム紹介 小名浜卓球クラブ(福島県)……[50]  
 インタビュー 伊藤美誠(豊田町スポーツ少年団)……[51]  
 国際大会 第3回INAS-FIDグローバル選手権大会……[52]  
 ビンポン東西南北……[31]  
 第5チャンネル……[32]  
 各地レポート……[34]  
 アジアベテラン大会……[39]  
 各地ラージボール大会……[42]  
 みんなのコーナー……[44]  
 編集室……[44]  
 DVD女子卓球の真実……[53]  
 ニッタク講習会……[54]  
 卓球ファンnet……[56]

## Message

平成8年1月号からメッセージ欄を担当し丸16年、192回目になる。

振り返ると、想いを書きつづったときもあり、軽めに書いたときもあり、とさまざまであった。

以前に比べると、大会取材に出る機会が少なくなったことから、小・中の若い選手から日本のトップ選手を直に見ることが少なくなり、変わって高齢者の人たちの大会を見る機会や講習会が増えた。

若い人たちのプレーを見られないのは寂しいが、それはそれで楽しくもあり、充実している。

ところで、平成14年11月から日刊ス

ポーツ朝刊に毎月1回(最終水曜日)、「ニッタクニュース」という卓球の記事を掲載、来年で10年を迎える。

その中に「われら卓球仲間」というコーナーがあり、卓球に縁のあった方、あるいは現在も卓球を続けている方を紹介している。これまでに109名の方を紹介。大企業のトップで経営に携わる人から、No.2、No.3として補佐する方、あるいは教育関係の方、そのほかタレント活動をしている方などなど。「学生時代に卓球から学んだことが現在の仕事に役立っています」と、ほとんどの人が言っている。

卓球はすばらしい。(片野)

表紙  
 第66回国民体育成年大会女子優勝の茨城県。左から内山敏彦監督、福平暁、野上紗矢佳、森園美咲の各選手  
 撮影 横川和磨